

組合ニュースNo.17

2019年 7月 4日
佐賀大学教職員組合

0952-22-9281/ 内線電話 2916/fax 0952-22-9286

E-mail:LDP03673@nifty.ne.jp <http://union-saga-u.my.coocan.jp>



組合に入りましょう！
あなたが組合を作り、組合
はあなたを守る

共同声明の発表について

先月下旬、教職員組合の役員改選があり、2019年度の新執行部が選出されました。旧執行部にあつては、これまでの団体交渉等のまとめ、また新執行部にあつては、8月上旬に予定されている組合定期総会の準備等に追われているところです。そういう新旧の引き継ぎに忙殺されている最中に、6月25日の学長選考会議の選考結果が公表されました。大学内には、驚きと嘆きが充満しています。私たちは、佐賀大学が健全に発展していくことを願っています。そこで、前委員長と新委員長の連名による共同の声明「選考会議の結果をどう考え、次期学長に何を望むか」を発表することとしました。

2019年7月3日

選考会議の結果をどう考え、次期学長に何を望むか

佐賀大学教職員組合
前委員長 田中宗浩
新委員長 平地一郎

6月25日、学長選考会議は次期学長候補者として兒玉浩明氏を選出したと公表しました。今回も4年前の学長選考に続いて、教職員の意向とかけ離れた選考結果となり、大変な驚きと、戸惑いが広がっています。

学長選考は「学長選考規則」に明示された手続きによって実施され、形式上の手続きの不備は無かったものと思いますが、今回も具体的な選考理由が示されませんでした。「意向調査」の結果との甚だしい乖離や、選考会議で過半数に満たない獲得票という事態を考えると、誰もが納得できる選考理由が示される必要がありました。

学長選考の「意向調査」では、第1位得票者が289票、第2位が200票、第3位の兒玉浩明氏が124票、第4位が87票でした。現職の理事・副学長である兒玉氏への支持が得票率17.7%と2割以下となったことは、これまでの法人の大学運営に対する厳しい批判の表れであると私たちは考えます。

国立大学法人を取り巻く環境は、4年前より更に厳しいものがあり、教職員が心を合わせて大学改革を進め、難局を乗り切らなければならない状況のなかで、組織運営のトップに立つ新学長は、構成員に対する求心力を構築し、強いリーダーシップを発揮しなければなりません。そのためには、新学長は、従来の運営の反省に立って、構成員に対する説明責任を真摯に果たし、その十分な理解を促しながら教職員が持つ英知を多角的に結集する大学運営に心がけて欲しいと、私たちは、切に

望みます。

教職員組合は、教職員の生活と職場環境を守る立場から、新学長に対しては公正な大学運営を行うよう引き続き求めるとともに、二度と同じ轍を踏まないよう今回の選考過程の検証についても努めていきたいと考えます。

学長が指名する学長選考会議が学長を選ぶという仕組みの下では、その選考過程に学長からの独立性がなければ、選考は正統性を持ちません。たしかに選考委員の指名は学長の権限ですが、その選考過程に学長の意向を反映させるとすれば、それは権限外であり「学長選考規則」からの逸脱です。教職員の意向が考慮されず、その理由も説明されていないのですから、他の意向が働いたという疑念が依然として残っています。検証するとすれば、選考会議の学長からの独立性が、その要点になるでしょう。

佐賀大学をより良い大学として発展させたいという気持ちは、皆が共有しています。そういう信頼関係に立つ大学になるよう、私たち教職員組合も皆さんと協力しながら努力していきたいと思えます。

【参考】

平成 26 年に通知された「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律及び学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令」には、「(4)学長又は機構長の選考を行った際の公表事項(国立大学法人法施行規則第 1 条の 2 関係) 学長又は機構長として選考された者を学長等選考会議が選考した理由については、学長等選考会議が定める基準に照らして当該者が適切と判断した理由が明らかとなるものとする等、可能な限り具体的なものとする。また、学長等選考会議における学長又は機構長の選考の過程については、学長等選考会議が定める基準に照らして、学長又は機構長候補者の推薦・立候補等を受け付けた期間、学長又は機構長候補者の選考に関わるヒアリングの実施期日、教職員による、いわゆる意向投票の実施状況等、学長等選考会議の開催状況以外のものが含まれるものであること」とある。

今回も前回の学長選考も、意向調査の結果を覆し、大多数の構成員の理解を得られない決定を行っていながら、省令にある説明責任を果たしていない。

